

# 曾於文藝

うたごよみ

題字  
末吉文化協会会員  
瀬戸口 淳民氏

## 俳句

### 大陽俳句会

風吹けば土手は白波茅花の穂

福村

よう子

どくだみや庭一面に咲くがよい

岩重

みどり

訪ね来る人を待ちをり藤の花

鍋山

美智子

## 短歌

### 末吉短歌会

薫風とひかりにまみれ草払ふ

君のいのちの神々しき午後

泊 康

気の重き会合に出る服選ぶ

アースカラーは視線避くるや

平田

美穂子

土成の峰走る風葉をちぎる

今日はメーデー囃に太鼓

大森

巳喜生

### 大陽短歌会

夢にみる亡母はみどりのコート着る

戦後作りし毛布の生地

竹内 娃子

「鬱陶しいと書けば一層鬱陶しく・・・」

梅雨の最中を一葉届く

広川 ミドリ

庭先のえんどう採りて「母の日」は

子孫が集う無心なる刻

安藤 フヂ子

### 曾於やごろう短歌会

スタバマックケンチキサイゼドンキムジ

どれも無いから丁度いい町

谷川 美佐子

晴れの日にキラキラ光る海のかな

マルチのうねのさつまいも畑

宮ヶ迫 恵子

### 財部短歌会

事成すに時間ばかりが先に行く

こころ鎮めて残生おもふ

井上 澄子

## 薩摩狂句

### にがごい会末吉支部

初夏の空柴のアヤメ凜と立つ  
花言葉には「良い便り」あり

坂元 淳子

軽やかに雑草を刈る草刈機

皐月の風に快き音

脇丸 洋子

酔れ爺ん 血を吸て蚊ずい

じつどれつ

胡摩ヶ野 べぶまつ

美味焼酎 焼肉の匂

牛舎へ

高瀬 博多夜舟

サプリメン

病気効つどち

騙されつ

浜田 一好

ホタル見つ

蛙声耳に

そや昔

桐野 奈世

父の日に

牛乳を飲ませつ

腹下痢

西留 辰子